

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 1 0	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Incidence and predictors of hypertension over 8 years among Chinese men and women. 中国人男女の8年間追跡結果による高血圧の罹患率と危険因子について	
執筆者	
Gu D, Wildman RP, Wu X, Reynolds K, Huang J, Chen CS, He J.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Hypertens. 2007 Mar;25(3):517-23.	
キーワード	
中国、高血圧罹患率、前向き研究、危険因子	
要 旨	
<p>目的： 前向き研究 8 年間追跡の結果から、中国人成人の高血圧罹患率と高血圧の危険因子について検討する。</p> <p>方法： 地域住民ベースで、40 歳以上、かつ高血圧の既往のない 10,525 人の中国人を対象に、1991 年から 1999 もしくは 2000 年にかけて前向き研究を行った。高血圧罹患についての判定基準は、収縮期血圧 140mmHg 以上、または拡張期血圧 90mmHg 以上、または降圧剤内服開始とした。</p> <p>結果： 平均追跡期間は 8.2 年、男性の 28.9%、女性の 26.9%が高血圧に罹患した。男性では高血圧罹患の予測因子は年齢 (5 歳上昇あたりの相対危険度(RR) : 1.10 (95%信頼区間(CI):1.07-1.13))、都市部に在住していること(RR:0.74、95%CI:0.64-0.85)、飲酒(RR:1.13、95%CI:1.02-1.24)、調査開始時前高血圧症あり(RR:1.70、95%CI:1.53-1.88)、心拍数(3 分位のうち第 3 分位の第 1 分位に対する RR:1.27、95%CI:1.13-1.44)、BMI (ボディマスインデックス) (3 分位のうち第 3 分位の第 1 分位に対する RR:1.28、95%CI:1.12-1.46)、身体活動が少ないこと (RR:1.27、95%CI:1.10-1.47) であった。女性では、飲酒の代わりに現在喫煙が入り、都市部ではなく農村部に在住であることが入る以外結果は男性と同じであった。改善可能な危険因子についての人口寄与危険度割合は 25-50%であった。</p> <p>結論： この結果より、中国人成人では高血圧の罹患率が高いことが示された。また、新規発症の 25-50%が危険因子を改善することによって予防可能であることが示唆された。高血圧に関連する心血管系疾患の死亡率が高いことをかんがみれば、このデータは中国における高血圧予防や高血圧のコントロールプログラムを改善することが急務であることを喚起するものである。</p>	